



学校では眼鏡っ子の
アイドルが同級生達に。。。 (漫画4P)

はあ...はあ...
た、高山さん...ッ!

いやああッ!

お...い...まだ
誰か残って...!?

なっ...!

た、高山さん...!!
○○...お、お前ッ!!

こ、これは...
ちが...

お前ばっかり
ずるいぞ!!!

お、俺も高山さんのこと
やろうと思ってたのに!

み、みんな...
きやっ...!?

いやあッ!

あ...

俺にもやらせてよ
高山さん!

そんなっ
いや!ダメえ!

○○は良くて
俺はダメなのかよ!

おい抑えろ!

脱がせ脱がせ!

やだああああッ!

...え?

ぼ、僕も...高山さんと
やりたい...へへ...

やだあああ!

脚開け脚!

んちゅっ♡ちゅっ♡
た、た、高山さんのおっぱい!

な、なあ次は
俺な?俺!

馬鹿言え!
俺だ!

みんなやめてえっ!

オラ挿れるぞ!

こ、これが...
オマンコ...♡

ゴゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ



ハアッッ!
ウツッッ!
気持ちいい...ッ♡

やいやあッ!
やだああッ♡

高山っ♡
高山あ♡

いたっ...
ううっ...あッ♡

な、中に出した?

ふっ♡えがった...♡

れろっ♡れろっ♡
はあ...はあ...



はあ...はあ...
おっばい...♡

あ...う...

はっはっ

お、俺も...

俺も絶対中に出すぞ...!!

次誰?

俺!俺が!



やべ...ウツッ!
おらああッ!

やだあああ!

やだああッ!
ぬいてっ...ああ...



こっ、これが高山さんのっ♡
アイドルマンコッ♡ウツ♡

はあッ♡はあッ...♡
いやああ...♡

アイドル関係
ねえッww

あ、あるわ!

んっ!?
んんんうっ!

へへ...俺は口た...

た、高山のロマンコ...
あったけえ...♡♡♡

オラっ！出るぞ
高山 あっ♡♡♡

いやあああっ！
中だけは…
だめええ♡

高山さん♡
高山さん♡
俺の飲んで…！

んああ…♡はあ…♡
いやああ…んっ♡

出るッ♡
オラっ！
飲め高山あ！

アイドルに…
ザーメン直飲み…
ウヒヒ…♡

ウツ…締まるう…♡

高山っ！へへへ…
俺のザーメンで孕めよっ！

へへへ…♡うるせー♡
オラ孕めええええッ！！

あっ♡
あっ♡あっ♡

みんな…
ひどいよ…
プロデューサー…
ごめんなさい…

やあっ…それは…
アイドル…続けられなっ…

もし赤ちゃんが
できちゃってたら…

なあ…どうせだから
コレで録画しようぜ…

へへ…次誰やる？
次俺！俺！

いいねえ〜♪



あの日、○○君が様子が
おかしくて：私が挨拶しても
目を逸らして生返事をしていただけから
気になったんです：

何か悩みがあるんじゃないかって：

放課後、一人でいる
○○くんを見かけて：
私、励ましたくて○○君に
話しかけたんです

私知らなかったんです：
クラスの皆が：その：
私のこと、いつもそんないやらしり目で
見ていたなんて：

「アイドルになるなら、今まで以上に
身の回りに気をつけなさいといけなさいよ」
ってプロデューサーが
そう言ってくれていたのよ：

○○君は豹変して私に
襲いかかってきました

力が強くて、全然抵抗
できなくて：

彼が男だって事を意識
させられて：急に

○○君の事が
恐ろしくなりました

私は混乱してやめてって
お願いすることしかできなくて：
彼はそれで興奮したみたいで
私の服を脱がすと下着も
ずらして：その：

おちんちんを私の：おまんこに：
強引に挿入してきて：

その後のことはよく
覚えていません：

○○君は一心不乱に腰を
叩きつけてきて

泣きながらイヤがる私の
中に：すぐに：精液を：

お腹の中に凄い勢いで
注がれたのがわかりました
熱いのが私の中で
暴れ回って：

ああ：もう私は
プロデューサーと結ばれることは
ないんだって：そう思ったなら
涙が出てきました：

「ズプ
ズプ」

「んんん」

「は
は」

「は
は」

「んんん」

「んんん」

「んんん」

「んんん」

「んんん」

「んんん」

最悪な出来事に私は怯えてしまい
①①くんの呼びかけにも混乱していや!と叫んで喚くしかできませんでした
でも本当に最悪なのはその後だったんです

教室の扉が開いて数人のクラスメイトが入ってきたんです
全員、男子でした…

半裸の私たち2人を見て男子達は最初こそ驚きました
でもすぐにクラスでもあまり素行の良くない△△君がこう言ったんです
「お前ばっかりズルいぞ!」

最初は私を含め皆が何を言ったのかわかりませんでした
でも他の男子が△△君の意図を察するとその場の皆も追従して言い始めました

「俺も高山さんとセックスしたかったのに」
○○君も呆気にとられていました

△△君達が私を取り囲み服を脱がし始めました

皆、私のことをそういう目で見ていたんです
私は恐ろしくなつて一心不乱に身体を動かして逃げようとしていました
でも男子たちの力は強くても男子たちにスカートを剥ぎ取られ教室の床に押し倒されてしまいました…

△△君はその間ずっと私の胸を揉んできて、そのおぞましさに私は震えが止まりませんでした…

「みんなやめて」「おねがい」
そう叫んでも誰も聞いていません
まるで別人になったように血走った目で私に覆い被さってきました

△△君が服を脱いでおちんちんを私に見せつけて強引におまんこにそれを押し込もうとしました…

○○君より大きいツレが私のその肉を押し広げて来て…
「また犯される」
そう思ったら恐怖で身体が動かなくなつてしまいました



気持ちいい
気持ちいい

△△君は
嬉しそうに
そう繰り返しながら
私の上で
腰を乱暴に動かし
続けます

いやだと言っても
止めてくれるどころか
腰の動きが激しくなり
そして彼は：

はん、はん

はん、はん

はん、はん



腰を強く押し込んで
私の子宮の入り口に
先端を密着
させて：

〇〇君より
慣れた感じで
器用に私の中に：

勢いよく射精してきました…
さつきより量も多くて
私も…泣きながら絶頂しました

はん、はん

はん、はん

はん、はん



初めてを奪われたところか
好きでもない複数の人に
膣内射精をされた私は
もう思考能力を失い、目を逸らして
泣くことしかできませんでした

その間も他の男子が…
「中に出したのか」「次は俺だ」と
好き勝手に盛り上がっていました

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん



いつも私に優しくしてくれていた
××君が、激しく私を背後から
嬉しそうに犯してきて

横柄な態度が少し気になっていた
□□君はおちんちんを
しゃぶるように強要してきました

もう私はわけが
わからなくなり
されるがままに
その場の全員に
犯されました

初めては…プロデューサーと…
大好きない尊敬するプロデューサー…
誰にも言えなかつた想いは
クラスメイトに散らされました

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん

はん、はん



私のそんな想いなど
知ったことかど
言わんばかりに全員が
私の中に繰り返し射精します

何人がが面白がつて
顔にぶっかけたり
飲ませたりして
私はまるで
まるでおもちゃのようでした

言葉遣いも
乱暴になり

私は言われるままに
腰を振つて
精液を飲みました

いつ終わるかもわからない
行為...
とうに疲れ果てている私とは
対照的に、皆はまるで足りない
言わんばかりに、
私に群がって性欲を吐き出します



「俺のザーメンで孕めよ高山！」
△△君が何度目かの射精でそう私に
言いました
「孕む」
私は性行為の先の当然の結果を
今更ながらに自覚し、恐ろしくなって
止めるように懇願しました

おかしいですよ...今更1回や2回
射精される回数が増えても
大して変わらないのに...

当然△△君は許して
くれるわけもなく
むしろ興奮して
私の中に射精しました

私はアイドルを続けられなく
なると思い絶望しました...
ですが現実はずっと残酷でした

この事で弱みを握られた私は
翌日からクラスメイト達の
共用の性処理係にされた
毎日犯される日々が始まったのです



彼らの命令でアイドルは
続けさせられました

後でわかった事ですが...
この時の輪姦で私は赤ちゃんを
孕まされて...
父親が誰かは...わかりません...